

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	東かがわ市			代表者名	上村 一郎
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部財務課デジタル推進室	連絡先電話番号	0879-26-1215
担当者役職	室長	担当者氏名	植田 雅仁	連絡先E-mail	
住所	769-2701 香川県東かがわ市湊1847番地1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	次期 東かがわデジタル化推進戦略（仮称）		
概要	次期5年間の戦略策定について、データ分析やAI活用について専門的なアドバイスを受ける。				
支援を求める分野	計画策定支援 オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI活用 生成AI活用				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	515	令和8年2月18日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月16日	支援・助言&講演(実地)	13時00分	14時30分	
				活動時間（分）	90
2-2. 派遣場所	会場名	東かがわ市交流プラザ		最寄駅	讃岐白鳥駅
	所在地	香川県東かがわ市湊1806-2		最寄駅からの交通手段	タクシーまたはバス

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	デジタルリーダーの改選により新しいデジタルリーダーにも分かるよう、先進自治体の事例を踏まえ説明をいただき、今後、本市がどのようにAIを活用していくかの道筋について、講演をいただいた。新しいデジタル化推進戦略の策定に伴い、具体施策案の作り方について、デジタルリーダーへ支援をいただいたことで、無事、戦略が策定できた。その後、この戦略で実施する内容に関して、関係者各位の立場による関わり方とエビデンスに基づく政策の必要性などの講演をいただくことで、全ての出席者がデジタル化への変革の必要の重要性を再確認できた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きよろしくをお願いします。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	31人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	29	0	0	2

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	前回のアドバイスに基づき、東かがわデジタル化推進戦略【第2.0版】を作成することが出来たことから、実際、全体の計画の内容について、今後どのように戦略を推進して行くかを講演会を通じて理解してもらいたい。また、各所属のデジタルリーダーから提出された具体施策案について、AI活用を軸としEBPMを用いた、更なる具体施策案の作成に向けたアドバイスをしてほしい。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	東かがわデジタル化推進戦略【第2.0版】の実行による課題解決に向けたスケジュールとAI活用を主軸とした具体施策にアップデートするために必要な知識、FACTに基づいた地域のこれからの社会環境に対応するために、各地域課題の解決に向けて心がけておくことを参加者に再認識してもらう。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	直感や感覚での意見ではなく、これからの市の施策は証拠に基づく政策を立案して、議会で説明する時代となることから、議員の方もその内容について審議できる対応が必要となる。また、変革を嫌う職員のために現在の仕事の仕方を続けることが、最短で消滅可能性自治体となる事を理解し、次の世代を担う子どもたちに残ってもらえるようデジタル化の変革が必要とアドバイスをいただいた。新しい戦略では、AI活用を強くしており、活用により住民に寄り添う時間を作る戦略としているため、AI活用している職員がサボっていると認識しない組織体制が必要とされる。AIの活用のしかたとしては、正解を求めるのではなく、公開されている過去の文書や議事録などを読み込ませて、AIが生成した内容から、職員が判断をするといった活用を行うべきとのことだった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	市の役職者と管理職、各所属のデジタルリーダー、市議会議員、各自の立場として、新しい戦略との向き合い方、また、FACTを基に作られた政策の確認方法の必要性について、認識することがこれから重要となると理解できた。また、これから市としてAIを活用するため有益となる使い方を講演いただいたことで、これから導入するAIを目的を持って利用する重要性を知ることができた。新しい戦略を実行するためでなく、デジタル化に変革することで消滅可能性自治体にならないよう、組織的に取り組みすることが重要であることが認識できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
	東かがわデジタル化推進戦略【第2.0版】(東かがわ市作成)、東かがわ市のデジタル化推進戦略と変革すべき未来(アドバイザー作成)	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	時になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	アドバイザーがデジタルリーダー向けにアンケートを作成し調査します。その後アドバイザーにアンケートを返却、アドバイザーにて分析した後、結果報告書という流れのため、本報告書の提出期限に間に合いませんので、ご了承ください。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	東かがわデジタル化推進戦略【第2.0版】の具体施策案に掲載している各種事業の導入において、各種計画書等の資料を作成する。また、AI伴走支援事業によりAIの知識を知ること、戦略の具体施策案をアップデートする。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	令和8年度以降の本市のデジタル化を実施・推進することで、住民に寄り添う行政サービスの時間へ振り替え、消滅可能性自治体にならないように変革を推し進める。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」**を数枚程度貼り付けて下さい。

